

小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成30年11月27日(火) 午後7時00分～午後8時4分
場所 小田原市役所 7階 大会議室

2 出席者氏名

- 1 番委員 栢 沼 行 雄 (教育長)
2 番委員 和 田 重 宏 (教育長職務代理者)
3 番委員 萩 原 美由紀
4 番委員 吉 田 眞 理
5 番委員 森 本 浩 司

3 説明員等氏名

教育部長	内 田 里 美
文化部長	安 藤 圭 太
教育部副部長	友 部 誠 人
文化部副部長	遠 藤 佳 子
文化部管理監	大 島 慎 一
教育総務課長	飯 田 義 一
学校安全課長	川 口 博 幸
教育指導課長	石 井 美佐子
図書館長	古 矢 智 子
学校安全課副課長	高 田 恭 成
教育指導課副課長	瀬 戸 浩
教育指導課副課長	齋 藤 吉 弘
文化財課副課長	内 田 文 明
学校安全課給食係長	清 水 啓 子
学校安全課給食係長	市 川 慶 一

(事務局)

教育総務課副課長	前 島 正
教育総務課主任	小 林 綾 野

4 議事日程

- 日程第1 報告第7号 事務の臨時代理の報告(平成30年12月補正予算)について
(教育部・文化部)

5 報告事項

- (1) 学校施設のブロック塀の再点検の結果について (学校安全課)
(2) 平成31年度公立幼稚園新入園児応募状況について (教育指導課)

6 その他

平成30年度教育委員会事務の点検・評価後の状況について (教育総務課)

7 協議事項

- (1) 小田原市図書館の運営等について【非公開】 (図書館)

8 議事日程

日程第2 議案第35号 市議会定例会提出議案(工事請負契約の締結)に同意することについて【非公開】 (学校安全課)

9 議事等の概要

- (1) 教育長開会宣言

栢沼教育長…本日の出席者は5人で定足数に達しております。

- (2) 10月定例会会議録の承認

- (3) 会議録署名委員の決定…和田委員、萩原委員に決定

栢沼教育長…議事に入る前に、会議の非公開について、お諮りいたします。

本日の日程のうち、協議事項(1)「小田原市図書館の運営等について」は現在調整中の案件であり、また、議案第35号「市議会定例会提出議案(工事請負契約の締結)に同意することについて」は平成30年12月小田原市議会定例会への提出案件でありますので、その性質上、これを非公開といたしたいと存じます。

本議案を非公開とする件について、採決してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

栢沼教育長…御異議もありませんので、採決いたします。協議事項(1)及び議案第35号を非公開とすることに賛成の方は、挙手願います。

(全員挙手)

栢沼教育長…全員賛成により、協議事項(1)及び議案第35号は、後ほど非公開での審議といたします。

(4) 日程第1 報告第7号 事務の臨時代理の報告(平成30年12月補正予算)について
(教育部・文化部)

教育部副部長…それでは、報告第7号「事務の臨時代理の報告(12月補正予算)について」を御説明申し上げます。

市議会12月定例会に係る補正予算について、市長から意見を求められました。が、教育委員会会議を招集する時間的余裕がなかったため、小田原市教育長に対する事務委任等に関する規則第3条に基づき、教育長が臨時に代理し、市長に意見を申し出ましたので、御報告するものです。

細部について御説明申し上げますので、資料2枚目「平成30年12月補正予算概要」を御覧ください。私からは、まず、教育部関係の補正予算について御説明申し上げます。

歳入の学校管理費寄付金でございますが、匿名の方から地域の小学校3校・中学校1校の蔵書を充実してほしいとの御意思で合計40万円の御寄附をいただきました。これを財源に、歳出の1段目の小学校費の学校教材等整備・管理事業として、富士見小学校、下府中小学校、酒匂小学校の3校に各校10万円ずつ、合計30万円の図書購入費を計上するとともに、2段目の中学校費の学校教材等整備・管理事業として、酒匂中学校に10万円の図書購入費を計上したものでございます。

次に、資料下段の「債務負担行為補正の学校給食調理委託料」でございます。本市では、平成14年度から調理業務の民間委託を導入しており、これまで学校給食調理施設全24施設のうち19施設で実施しております。

このうち、今年度末で契約が満了する共同調理場3場と小学校10校に、調理員の退職などを勘案して新たに調理業務を委託する曾我小学校及び報徳小学校を含めた、計15施設の学校給食の調理業務委託料について、債務負担行為の設定をするものでございます。

実際に業務を開始いたしますのは平成31年度からとなりますが、円滑に業務を遂行するためには準備期間が必要となりますことから、平成30年度から債務負担行為を設定するものでございます。なお、限度額は9億4515万2千円でございます。

教育部所管の補正予算につきましては以上でございます。

文化部副部長…それでは、文化部所管の「平成30年度12月補正予算概要」について、私から御説明申し上げます。資料3枚目の「史跡石垣山保全対策事業(繰越明許補正)」を御覧いただきたいと存じます。

史跡石垣山保全対策事業は、平成30年度の当初予算に、(項)社会教育費、(目)文化財保護費の「史跡整備費」として計上しておりましたが、12月補正予算にて繰越明許費とするものでございます。

繰越の理由ですが、本事業につきましては、当初、10月21日開催の一夜城まつりの終了後に「史跡石垣山井戸曲輪等石垣保全対策工事」として着手、年度内に完成させる工期で調整しておりました。

しかし、この夏以降に日本各地を襲った、7月豪雨、台風第20号、第21号、第24号や北海道胆振東部地震等の災害による緊急復旧工事の需要増などによりまして、工事に必要な仮設モノレールの手配が年内には難しいことが判明しまして、年度内の工事の完成が困難になったため、次年度へ繰り越すものでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

(質疑・意見等なし)

以上で、文化財課が関連する議題は終了いたしましたので、関係の職員は御退席ください。

(文化財課 退席)

(5) 報告事項 (1) 学校施設のブロック塀の再点検の結果について (学校安全課)
学校安全課長…それでは、私から説明申し上げます。

「1 緊急点検の概要について」でございますが、去る6月18日に発生した大阪府北部の地震被害を受け、本市が管理する学校施設のブロック塀の緊急点検を実施した結果でございます。これは平成30年8月24日の厚生文教常任委員会で報告したものでございます。

次に「2 工事スケジュール」でございますが、前羽小学校及び山王小学校の東側を除くブロック塀25箇所につきましては、既に撤去を実施しており、仮設フェンスを設置してございます。フェンス新設については、3月中旬に完了する予定です。

前羽小学校につきましては、JR東日本の線路敷と隣接しているため、工事についてJR東日本と協議を進めてまいりましたが、協議が整いましたので、ブロック塀の撤去及びフェンスを新設いたします。フェンス新設は12月中旬に終了する予定でございます。

山王小学校の東側のブロック塀につきましては、既に撤去済みでございますが、当初、ブロック塀を撤去した後、早急にフェンスを新設する予定でしたが、ブロック塀の面していた道路の幅員が、建築基準法で定められた

4 m以上に満たず、セットバックしなければならないことが判明いたしました。その際、障害となる植栽及び樹木の伐採を行ったうえで、基礎を崩して後退しなければならず、想定していた以上の期間及び予算を要する工事となることが分かりました。したがって、今年度中は仮囲いのフェンスを設置し、フェンス新設は、平成31年度に施工したいと考えています。

資料の2ページを御覧ください。

次に「3 再点検の結果について」でございます。

大阪府北部地震の翌日の6月19日、20日の2日間に、全小中学校、幼稚園のブロック塀を緊急点検し、6月26日の本教育委員会定例会で御報告したところでございますが、10月21日に1か所の見落としがあることが判明いたしました。大変申し訳ありませんでした。

至急、全学校施設の再点検を実施し、表にまとめましたとおり複数箇所の見落としがありました学校施設が7校・園、10箇所ございました。これらのうち、5校・園、8箇所が「危険性あり」のブロック塀ございました。

危険性の内訳でございますが、高さが2.2mを超えるものが1箇所、控え壁がないものが6箇所、控え壁の間隔が適合していないものが2箇所ございました。なお、危険性ありのブロック塀箇所数の内訳は、重複している項目があるため、合計と一致いたしません。

「4 新たに発見したブロック塀について」を御覧ください。

新たに発見したブロック塀の概要といたしまして、新たに発見したブロック塀の箇所を表にしております。

新玉小学校につきましてはプール裏に、芦子小学校につきましては、大雄山線の線路敷との境界にございました。その他の学校につきましては、運動場トイレの目隠し壁が7箇所ございました。

資料の3ページを御覧ください。

参考としまして、芦子小学校の線路敷の境界のブロック塀の写真と報徳小学校の運動場トイレの目隠し壁の写真を掲載しております。

「(2)今後の対応」でございますが、新玉小学校につきましては、民地との境界にあるため、土地所有者と調整の上、ブロック塀の撤去及びフェンス新設を行います。芦子小学校につきましては、大雄山線の線路敷と近接しているため、伊豆箱根鉄道株式会社と協議の上、ブロック塀の撤去及びフェンス新設を行います。その他の学校施設のトイレの目隠し壁につきましては、学校との調整の上、撤去及び目隠しフェンスの新設を行います。

「5 財源」としまして、国の補正予算の動きについて県を通じて、情報提供がありましたのでお知らせします。

公立学校における倒壊の危険性のあるブロック塀の安全対策や熱中症対策としての空調整備を推進するためのブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金の補正予算案が、平成30年10月15日に閣議決定、11月7日に可決されまし

た。内容につきましては、現時点で確定した詳細は届いておりませんが、算定割合は、実工事費と配分基礎額の総和を算出し、どちらか小さい額の1/3、対象の範囲は、下限額が設置者あたり400万円以上、上限額が1校あたり2億円、事前着工した事業（完了した事業も含む）も対象、事業債は、起債充当100%、元利償還金の60%を交付税算入といった内容になっております。なお、現時点での県からの情報によりますと、対象となるブロック塀は、設置された時点の建築基準法に適合したものとされており、そのことを証明できる書類を用意する必要があるようでございます。現状では、そうした書類は残っておらず、ブロック塀における交付金申請は難しい状況であることを申し添えます。また、空調設備の設置につきましては、来年7月稼働で進めている計画を提出し、交付金の内定等の動きを待っている状況となります。以上で説明を終わらせていただきます。

(質疑)

栢沼教育長…ブロック塀の国からの臨時交付金等について、設置基準に基づいているという、その時点での証明書類が必要であるということですが、書類そのものが整わないといけないということでしょうか。

学校安全課長…ブロック塀が設置された時点で、設置基準に適合していることが要件となるとの情報をいただいております。それを証明する工事の図面などがないと申請できないこととなり、現時点の情報では非常に難しいと判断しております。

(その他質疑・意見等なし)

(6) 報告事項(2) 平成31年度公立幼稚園新入園児応募状況について (教育指導課)
教育指導課長…それでは、資料2を御覧ください。

平成31年度公立幼稚園の4歳児定員は、全体で385名となっております。その内訳は、酒匂幼稚園が105名、東富水幼稚園、下中幼稚園及び矢作幼稚園が各70名、前羽幼稚園及び報徳幼稚園が各35名でございます。

各園とも、去る11月1日及び2日の2日間で入園願書の受付を行いました。その結果、入園申込者数(D)の合計は、酒匂幼稚園が30名、東富水幼稚園が22名、前羽幼稚園が7名、下中幼稚園が7名、矢作幼稚園が28名、報徳幼稚園が18名、計112名となっております。

下段の表にございます過去3年間の応募状況のうち、前年度（平成30年度）の入園数（B）の計143名と比較しますと、31名の減となっております。公立幼稚園の応募者数につきましては、ここ数年減少傾向が続いておりますが、要因といたしましては、幼児人口の減少に加え、保育所を希望する御家庭の割合が増加していること、子ども子育て支援制度が始まり、保育料が各家庭の所得状況に応じた額に変更となったことで、公立幼稚園と私立幼稚園、さらには保育所との保育料に大きな差がなくなったことにより、より低年齢からの、また、より長い時間の保育を実施している施設に申し込みをしようとする御家庭が増えたことも一因ではないかと推察しております。

また、幼稚園別で見ますと、矢作幼稚園の応募者が28名となっておりますので、来年度の年少クラスは、2クラスから1クラスになる見込みでございます。よって、公立幼稚園6園の全体クラス数としては、平成30年度の15クラスから13クラスに減少する見込みでございます。

なお、今後でございますが、各園とも定員に達しておりませんので、随時、追加申込みを受け付けることとなり、既に酒匂幼稚園、矢作幼稚園では、11月5日以降に、酒匂幼稚園では4名、矢作幼稚園では2名の追加の応募を受けております。

また、酒匂幼稚園におきましては、この他にも本日までに、市外にお住いの方から入園に関する問い合わせが2件ほどありますので、今後の状況によりましては35名を超え、2クラスになる可能性もある状況となっております。

説明は以上です。

（質 疑）

萩原委員…前羽幼稚園と下中幼稚園について、入園申込者が7名ということですが、7名でも1クラスをつくるということになるのでしょうか。

教育指導課長…それぞれ7名で1クラス設置をすると考えております。

和田委員…その地域内の幼児の人数からすると、かなり少なくなっています。これは、想定内の数字なのか、それとも予想を反してのことなのでしょうか。想定外のことであれば、政策を考えなくてはならないと思います。

教育指導課長…公立幼稚園の入園児が減っているという、これまでの状況と、今年の状況については、ニーズに合っていないのではないかとすることは捉えております。今後、このまま園児数が減少するようであれば、何らかの政策は考えなくてはならないと、所管としても承知をしております。現在、子ども青少年部と、幼稚園、保育所のあり方全体をどうしていくのか、また、その中で公立幼稚園の入園児数の減少にどう対応していくのかということについて協議を進めているところです。

(その他質疑・意見等なし)

(7) その他 平成30年度教育委員会事務の点検・評価後の状況について (教育総務課) 教育総務課長…それでは私から御説明いたします。

資料3を御覧ください。

前回の定例会で御指摘いただいたことを踏まえて、様式の修正をいたしました。

まず、「進捗状況の選択の基準がわからない」との御意見がありましたので、冒頭に表の説明を記載する形に変更いたしました。

次に、「進捗状況が着手中のもので、点検・評価の意見に基づいて、新たに取り組んだものはあるか」との御意見がございましたので、理由等の欄に該当箇所に下線を引くよう対応いたしました。

表の中で網掛けをしているところが、前回から今回にかけて修正した箇所を示しております。例えば、前回、車椅子対応のトイレの数について御質問がございましたので、そういった点についても追加をしております。

これらの様式の見方については冒頭の部分にも説明を加えております。

また、前回から追加した部分として、5ページから6ページにかけて、補助執行事業についての欄を設けました。

当初、教育委員会定例会に、補助執行事業の担当課は毎回出席がございませんので、質疑等ができないため、資料からは除いておりましたが、御意見等があった場合は、事務局から所管課へ申し伝えることとさせていただくこととして、今回から記載しました。

本日は、このあとにも案件が控えているため、内容についての詳しい説明については割愛させていただきます。

私からは以上です。

(質 疑)

和田委員…情報過多の時代であり、子供たちも様々な方法で情報を入手できる状況の中で、情報教育の推進についての項目が、検討中、対応予定なし、完了となっています。この時代だからこそ、情報教育、特にリテラシーという視点で物事を見るということが重要であり、もう少し具体的な取組があっても良いのではないかと思います。本日の神奈川新聞に、夏休みのSNSを使用した、いじめの

相談には相当反応があったという記載があり、こういったことから、情報教育は大事なことであり、今後、さらに大事になってくると考えられますが、どのような方向性で取り組んでいくのでしょうか。

教育指導課長…情報教育については、重要なことであると捉えております。メディアリテラシー、モラルリテラシーの育成については、すでに教育課程の中で、道徳、技術家庭、社会科に組み込まれており、その中で学んでおります。また、特別活動等で扱う場合もあります。研修会については、今後、児童生徒指導研修会の中で取り扱いをしていきたいと考えているため、検討中としております。手引書の作成につきましては、文部科学省から発行されております「スマホ時代のキミたちへ」というリーフレットがあり、全家庭に毎年度配布されております。こちらが内容としてもよくできているものですので、学校ではこのリーフレットを活用して御家庭にも周知をしているため、市としてリテラシーの手引書を作成する予定がないことから対応予定なしとしておりますが、既にあるものを利用して取り組んでおります。保護者等との連携につきましては、完了としておりますが、終了してしまっただけということではなく、現在も保護者説明会や、中学校の新入学の説明会、あるいは授業中等で、保護者に参加していただきながら、情報の選択、SNSの扱い等について取り組んでおります。完了となっておりますが、着手しており、今後も継続していくと捉えていただければと思います。

和田委員…文部科学省が作成し、児童生徒に配られているというリーフレットについて、どのようなものか知りたいと思いますので、委員にも配布していただきたいと思います。

教育指導課長…次回までに用意いたします。

萩原委員…「おだわらっ子ドリル」の必要性や費用対効果等について、検討中となっております。教育研究所共同研究というかたちで、平成30年4月から平成32年3月まで作成のための研究を進めていると記載されておりますが、3年間、研究をされるのでしょうか。3年の間に、活用して実績を証明するなどといったかたちになるのでしょうか。

教育指導課長…平成30年、平成31年度で作成し、平成32年度には学校へ配布して、活用いただくよう考えております。年度としては2年間で作成する予定です。

栢沼教育長…全国学力テストの結果、家庭学習の習慣が身につけていない子供の割合が、神奈川県は9年連続で全国平均よりも低いという報道があり、家庭学習に関して、神奈川県教育委員会が指導主事を市町村の教育委員会へ派遣し、指導するというような新聞記事を読みました。改善方法等について、直接、指導に乗り出すという県の見解が示されておりました。学校側の指導、改善に余地があるということで、今後、神奈川県教育委員会の指導主事が、各市町村教育委員会へ指導や有効例の紹介といったことを取り組み始めるということのようですが、それらも含め、おだわらっ子ドリルの活用もありますが、家庭学習の習慣

が全国と比べて本市でも低いこともありますので、どのように子供たちに習慣化させるかということが、今後研修していかなければいけないことであると考えています。

吉田委員…全体的に、「検討していきたい」や、「参考にしていきたい」など、抽象的な表現が多いので、他の委員からも質問があるのだと思いますが、「こういう冊子を使用し、こういった指導をしています」や、「検討した結果、研修の内容にこういうものを加え、より質の高い研修になっている」など、具体的にどのように変わったのかを知りたいと思います。今はまだ始まったばかりかと思いますが、具体的にこのようになったということがわかるようになると良いと思いますので、よろしくお願いいたします。

栢沼教育長…吉田委員の御意見については、今後、生かしていただきたいと思います。

(その他質疑・意見等なし)

栢沼教育長…それでは、先ほど非公開とすることにいたしました案件以外の議題は終了いたしましたので、非公開とすることにいたしました案件を議題といたします。非公開とする前に、その他、委員、又は事務局から何かありますか。

(特になし)

栢沼教育長…ないようですので、非公開といたします。関係者以外の方は、御退席ください。

(関係者以外退席)

(8) 協議事項 (1) 小田原市図書館の運営等について【非公開】 (図書館)

10 教育長閉会宣言

平成30年12月21日

教 育 長

署名委員（和田委員）

署名委員（萩原委員）